

扉をひらき、資料をほどき、次世代へつなぐ

資料保存ガイドブック



ひらく

ほどく

つなぐ

戸棚や蔵の奥に眠る資料が、家族と地域の歴史を語っています。特別なものは必要ありません。資料のまとまりを大切に保管し、次の世代へつないでいくために、ご家庭でできることを紹介します。

お家に眠る地域の歴史資料ってどんなもの？

日記や手紙、昔の写真など、ご家庭に保管されている何気ないものが、ご家族の歴史を伝えるだけでなく、地域の歴史を伝える貴重な『歴史資料』になります。



大切な思い出が詰まった資料も、湿気や光、虫などの影響を受けやすいものです。特別な道具や知識がなくても大丈夫。今日からできる保存のコツをご紹介します。

大切な思い出 どう残す？ ご家庭でできる資料保存

基本① 箱に入れよう

箱に入れるだけで、光、ホコリ、虫、湿気から資料を守りやすくなります。

理想的です。万が一の火災や湿度変化にも強いです。



木箱や専用の保存箱

資料を直接入れず和紙などで包んで入れましょう。

段ボール



プラスチックケース



湿気がこもりやすいので、年に数回フタを開けて空気を入れ替えましょう。

基本② 湿気と光を避けよう

置き場所に気をつけるだけで劣化を防いで残しやすくなります。

直射日光

直接日光が当たる場所は避けます。



換気

押し入れなど湿気がたまりやすい場所では年に数回風を通します。



フックポイントメモ

掛け軸は掛けばなしにせず、季節ごとに変えて休ませてあげます。

写真やネガはとくに湿気と光に注意します。



基本③ 扱い方

日々の取り扱いも少しだけ気を付けると安心です。

新聞紙で包まない

新聞紙は変色やシミの原因になります。和紙などで包みましょう。



防虫剤に気をつける

防虫剤は、資料に直接触れないよう置き、種類の混用や入れすぎにも注意しましょう。



たまに掃除をする

時々刷毛でホコリを払ったりするなどの手入れをしましょう。



市史編さん室では、四万十市の歩みを未来へ伝える「市史」づくりを進めています。

皆様のご家庭に眠る資料や地域の記録などは、かけがえのない歴史の手がかりです。ぜひ調査へのご協力をお願いします。

調査では、担当者や専門家が資料を拝見し、カメラ等で記録を取ります。後日、成果品をお渡しします。

調査で知り得た個人情報やプライバシーが相談なく公開されることはありません。

四万十市史
編さんにご協力
ください



問い合わせ先

四万十市教育委員会
生涯学習課 市史編さん室

〒787-8501

四万十市中村大橋通4-10
四万十市役所 6階

☎ 0880-34-7312

平日 9:00 ~ 17:00

✉ history@city.shimanto.lg.jp

ご相談、
ご質問にて
ください

資料の保存方法や取り扱い、「これは何だろう?」といった内容への疑問など、困ったことや気になることがあればお気軽に市史編さん室へご相談ください。